

成長投資枠はアクティブファンドを活用！

日本中小型株式ファンドの魅力



講演資料 2024年7月

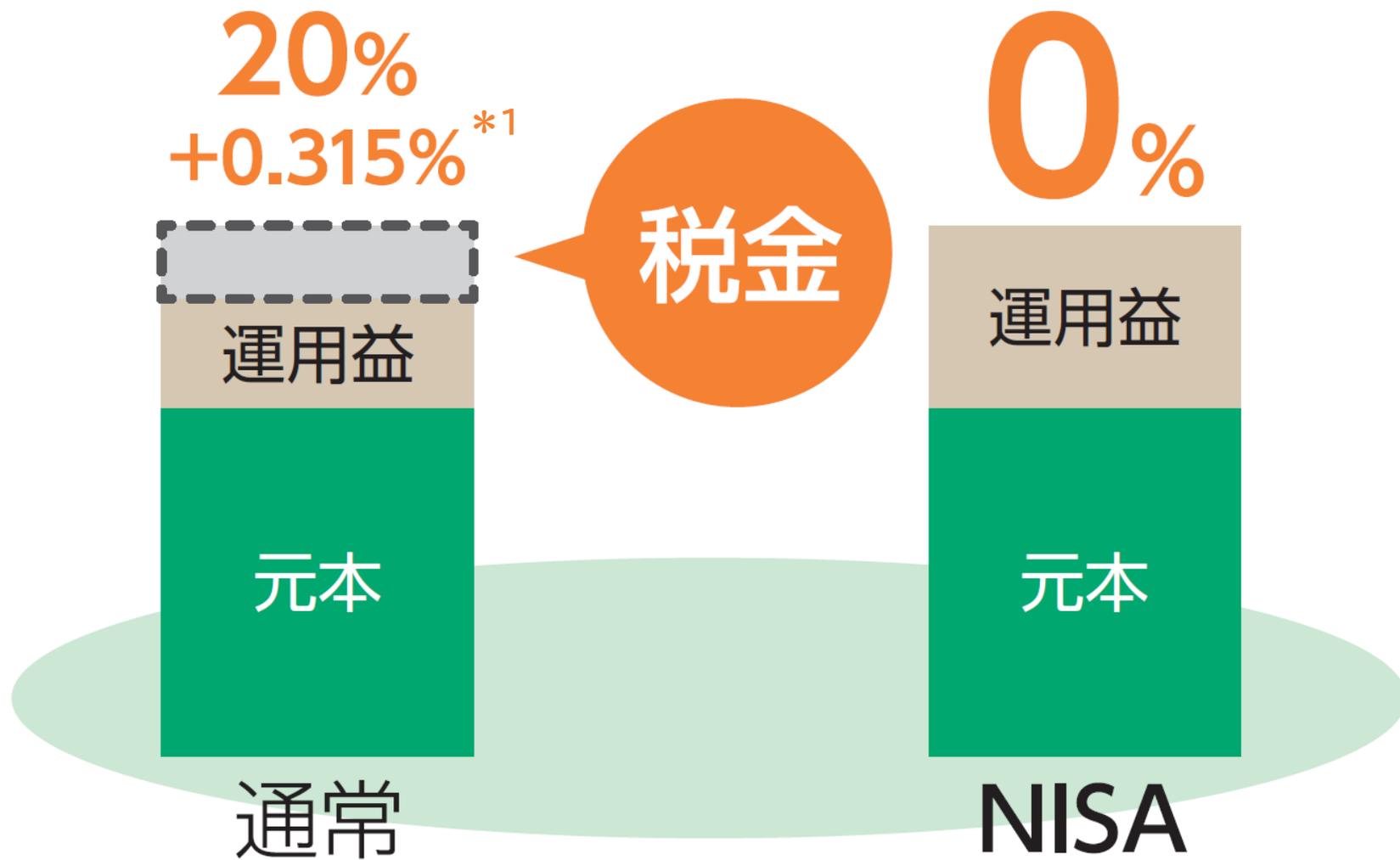
 **りそなアセットマネジメント**
RESONA

商号等:りそなアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2858号
加入協会:一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

お申込みにあたっては、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡りする「目論見書補完書面」を必ずご覧ください。

当資料は、講演資料としてりそなアセットマネジメントが作成したものです。
巻末の「当資料についての留意事項」を必ずご覧ください。

そもそもNISAは何がおトク？



NISA口座数は
2,100万口座超え^{*2}
(2023年12月末時点)

*1 2037年まで、復興特別所得税(0.315%)が付加されています。

*2 出所:金融庁「NISA口座の利用状況調査(2023年12月末時点(速報値))」より、NISA(一般・つみたて)口座数を参照して記載。



『NISAで買うファンド』は
どのようなファンドが
良いのでしょうか？

NISAを使うなら高いリターンを狙えるファンドが良い？

運用の
きっかけ

【つみたて投資枠】

米S&P500

オール・カンントリー

日経225

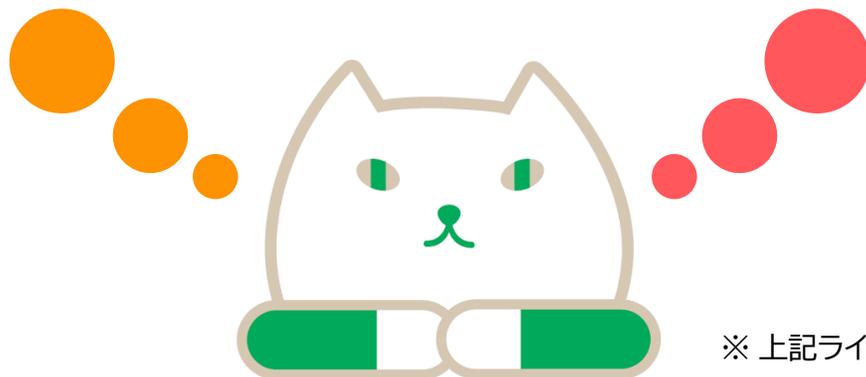
もう少し
利益追求

【成長投資枠】

半導体・AI関連

インド株

割安株

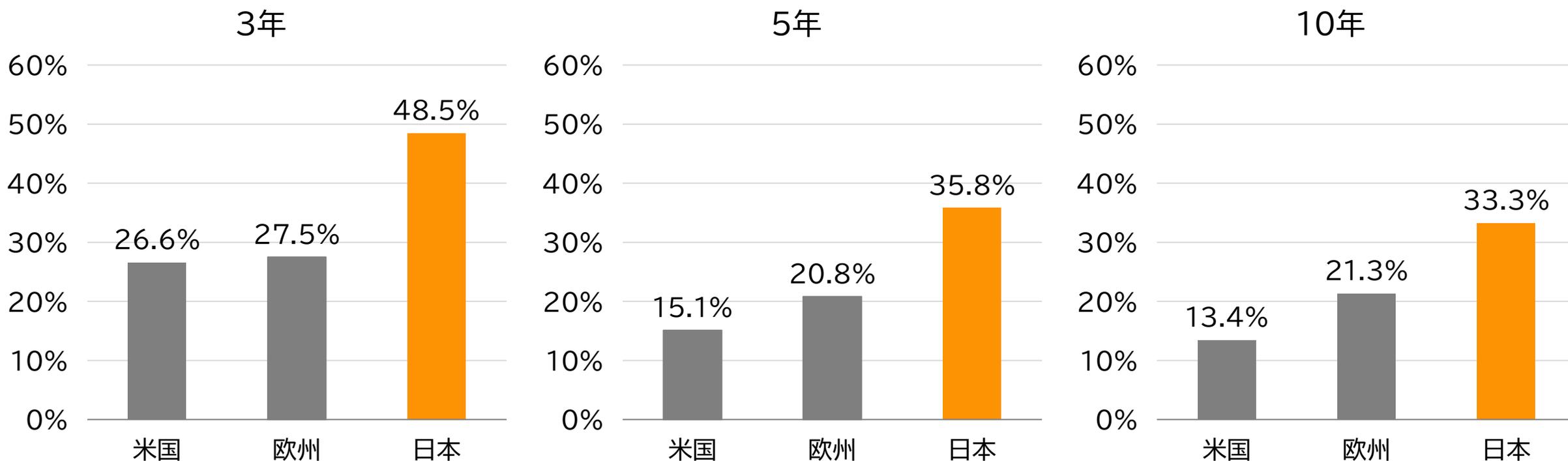


※ 上記ラインナップは一例です。

NISA『成長投資枠』は日本株アクティブファンドを活用！

米国・欧州・日本の大型株に投資するアクティブファンドでベンチマークを上回るファンドの割合は、日本が最も多い！

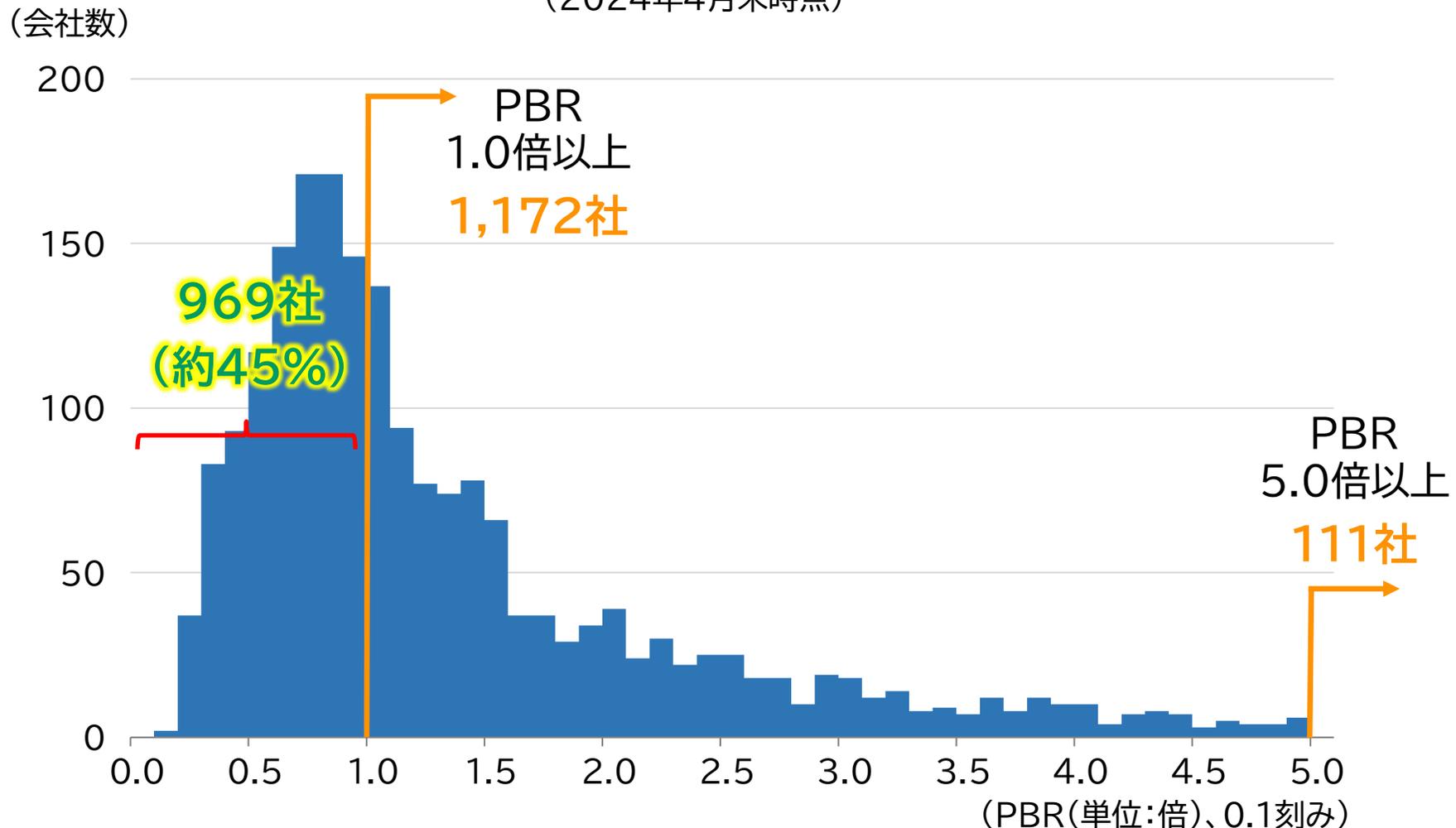
＜日米欧の自国大型株式アクティブファンドの超過リターン勝率＞



東証の企業に対するPBR(株価純資産倍率)改善要請

<TOPIX(東証株価指数)構成銘柄におけるPBR分布>

(2024年4月末時点)

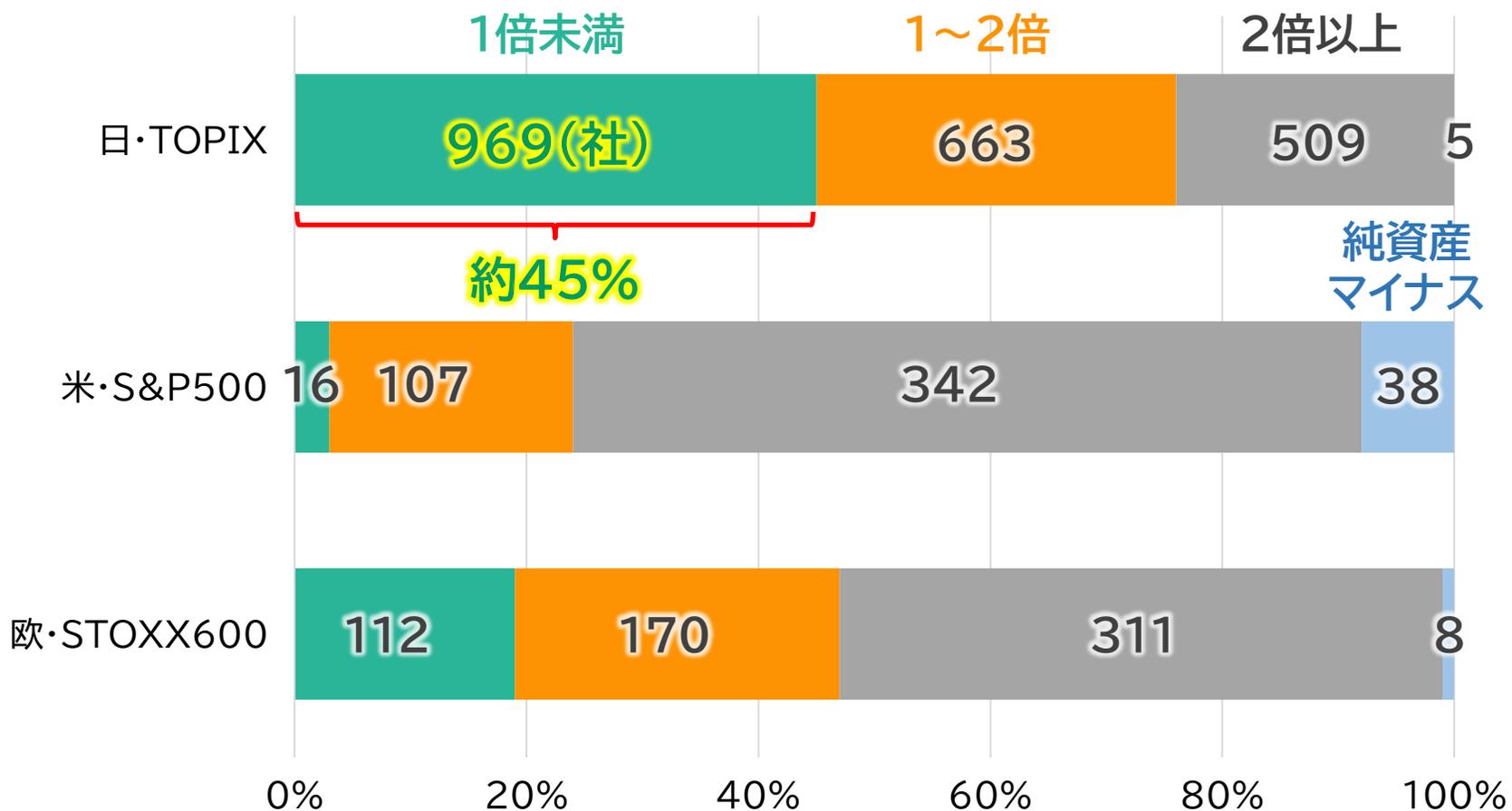


TOPIX銘柄の約半数は
解散価値1.0倍を
下回っている

出所:ブルームバーグのデータをもとにりそなアセットマネジメントが作成。

日米欧の企業PBR比較

＜日米欧の代表的指数構成銘柄におけるPBR分布＞
(2024年4月末時点)

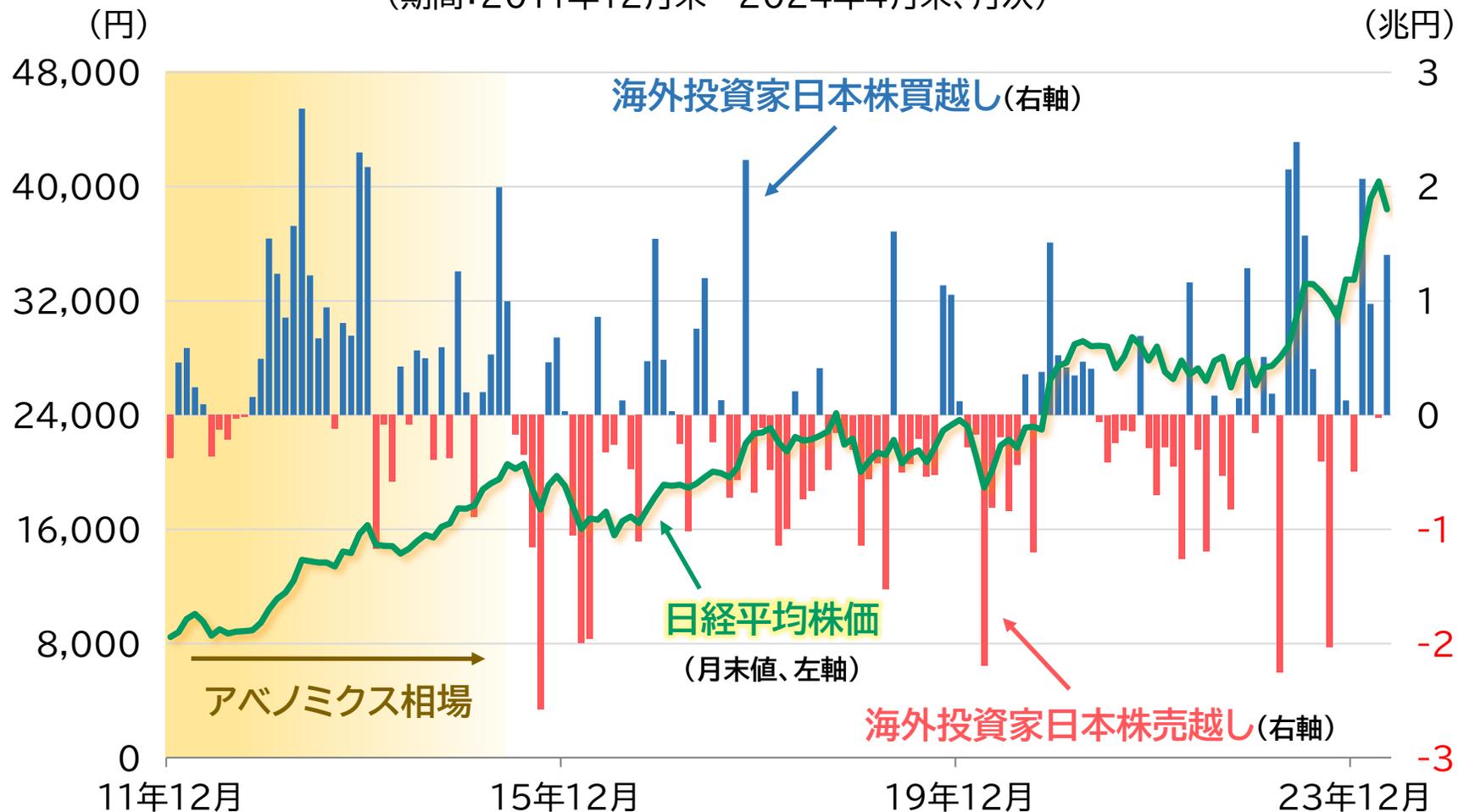


日本はPBR1倍未満の
企業割合が
米欧と比べて高い

日本株上昇のキーパーソンは“海外投資家”

＜海外投資家の日本株売買代金と日経平均株価の推移＞

(期間:2011年12月末~2024年4月末、月次)



日本株売買の
約7割*は
海外投資家

出所:ブルームバーグのデータをもとにりそなアセットマネジメントが作成。
* 日本取引所グループ「投資部門別売買状況(2023年)」をもとにりそなアセットマネジメントが算出。

中小型株へ投資する魅力 ① 高いパフォーマンス

＜規模別国内株式指数の推移＞
(期間:2000年12月末～2024年5月末、月次)



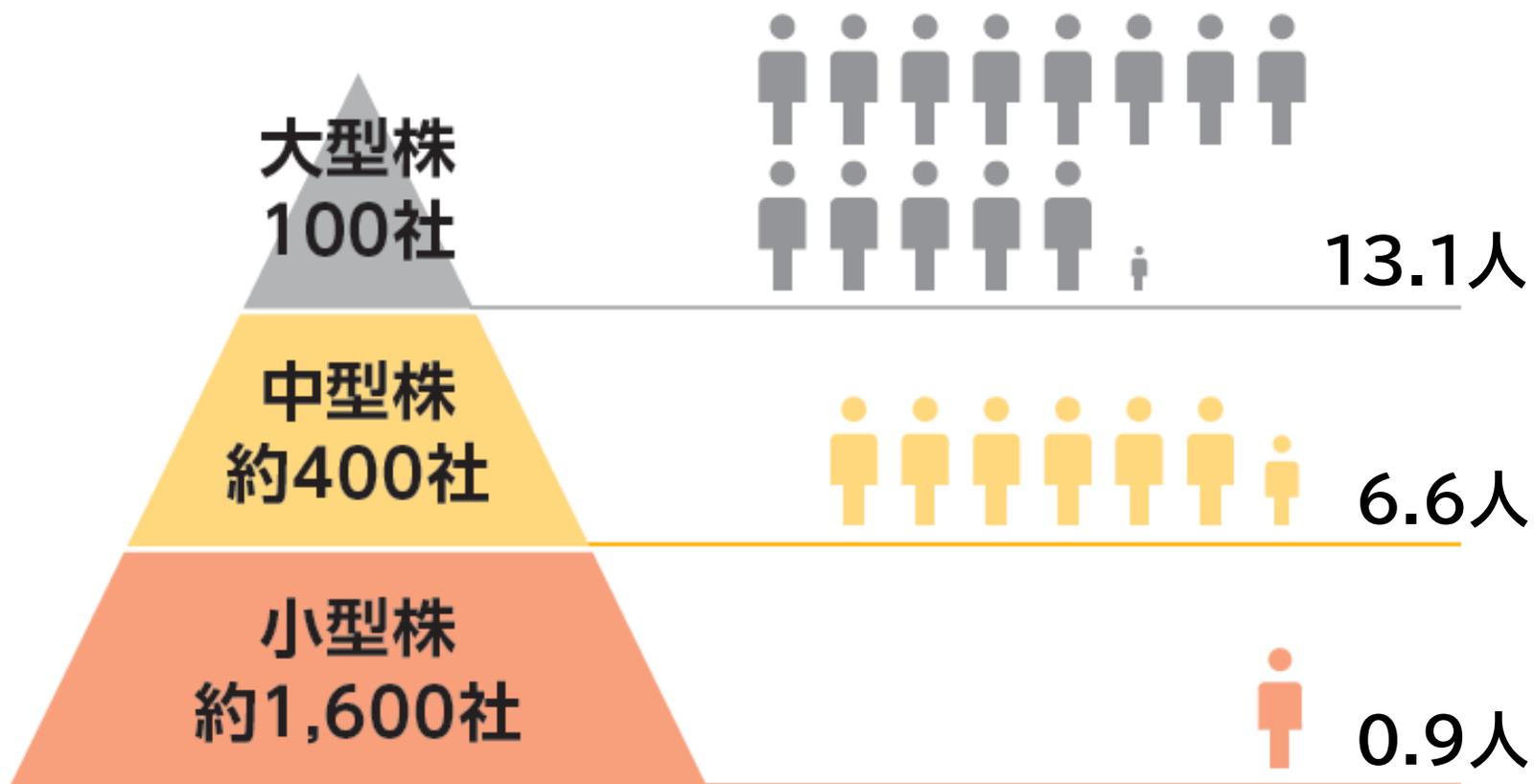
規模別国内株式指数	2024年5月末時点
小型株	568
中型株	393
大型株	281

出所:ブルームバーグのデータをもとにりそなアセットマネジメントが作成。

※ 大型株はTOPIX100(TOPIX算出対象銘柄のうち、時価総額と流動性が高い上位100銘柄を対象とした指数で、配当を考慮したもの)、中型株はTOPIX Mid400(TOPIX算出対象銘柄のうち、TOPIX100に次いで時価総額と流動性が高い上位400銘柄を対象とした指数で、配当を考慮したもの)、小型株はTOPIX Small(TOPIX算出対象銘柄のうち、TOPIX100およびTOPIX Mid400に属さない銘柄を対象とした指数で、配当を考慮したもの)を指します。

中小型株へ投資する魅力 ② 豊富な投資機会

＜規模別企業数と1社あたりの平均アナリスト数＞
(2023年12月末時点)



出所:ブルームバーグのデータをもとにりそなアセットマネジメントが作成。
※ 大型株はTOPIX100、中型株はTOPIX Mid400、小型株はTOPIX Smallを指します。

中小型株は銘柄数が多く、
『運用担当者の銘柄選定力』が
パフォーマンス獲得の
大きなカギ！



POINT!!



機関投資家(プロ)向けに提供してきた
25年超にわたる投資戦略を実践

POINT!!



投資先企業との徹底した
『対話・エンゲージメント』で企業と伴走

銘柄選定プロセス：『需要サイドのニーズ』に着目

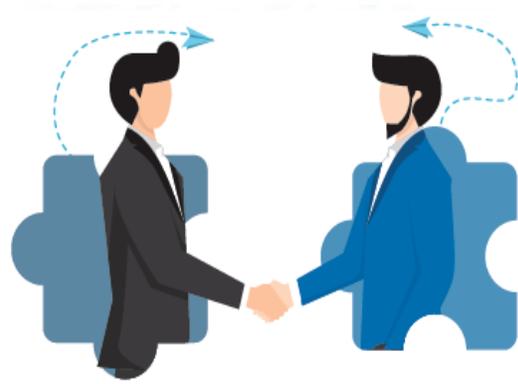


『社会の構造変化』に伴い生じる
「社会的な課題」に起因する
『需要サイドのニーズ』に着目

“対話・エンゲージメント”は投資開始後も継続、企業と伴走



企業が抱える課題



対話・エンゲージメント



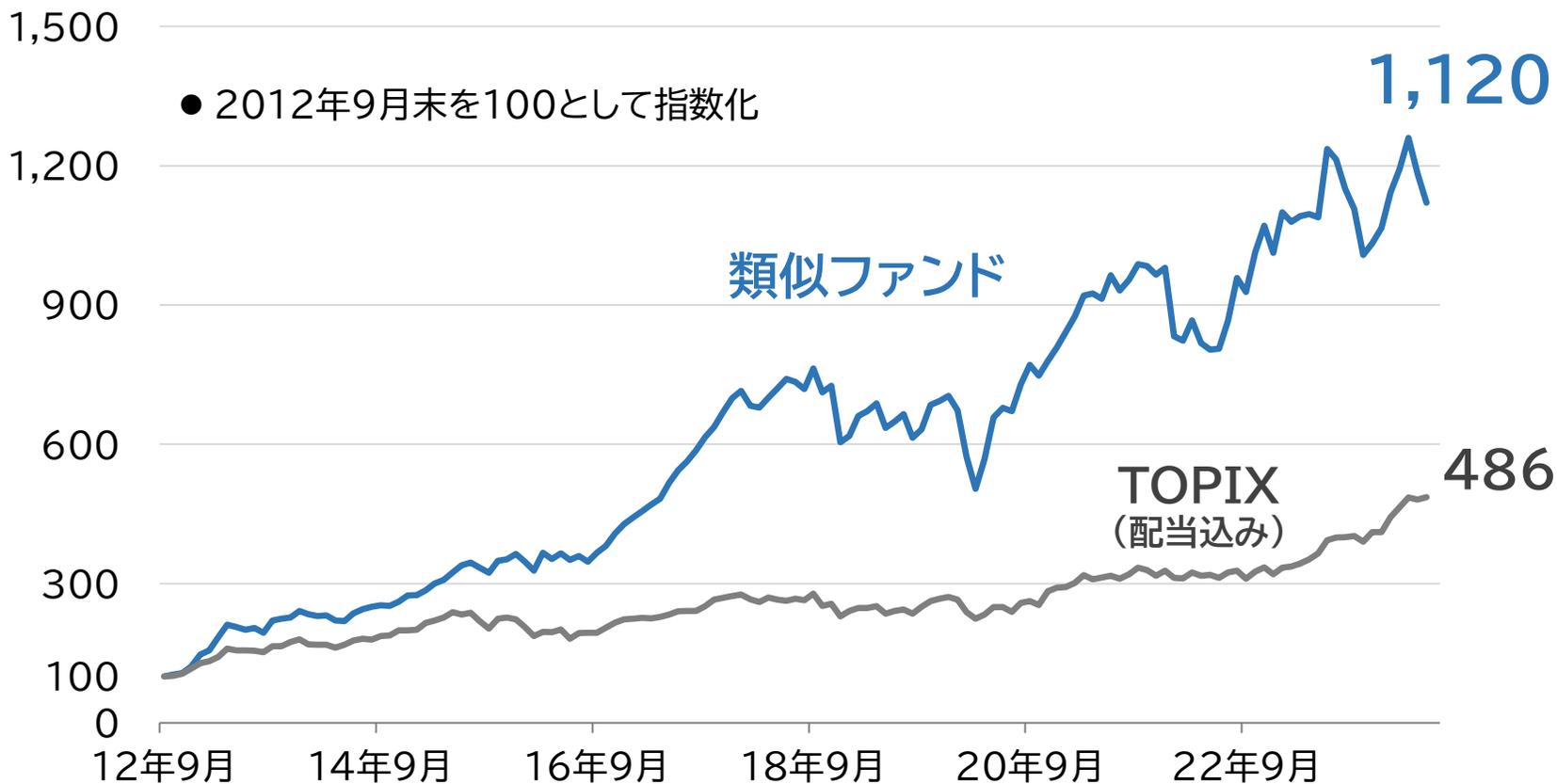
市場からの評価向上



企業が抱える課題を共に議論、解決に導くことで
企業価値の向上を目指す

年金運用で培った高い銘柄選定力

<類似ファンド*1とTOPIXの推移>
(期間:2012年9月末~2024年5月末、月次)



国内株式中小型部門(3年)
6度目の受賞*2

出所:ブルームバークのデータをもとにりそなアセットマネジメントが作成。

*1 上記類似ファンドは当ファンドの運用チームが年金基金などの機関投資家向けに当ファンドと同様の運用手法で運用を行っているファンドの運用実績から当ファンドの運用管理費用(信託報酬)相当を控除し算出したものであり、当ファンドの運用実績ではありません。また、当ファンドの将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。

*2 「Mercer MPA Awards 2023 Japan」を受賞したファンドは上記類似ファンド(株式口Z 小型株(集中投資))であり、当ファンドではありません。
受賞の詳細については、最終ページをご参照ください。

ニホンノミライは設定来堅調なパフォーマンス

<基準価額の推移>

(円) (期間:2018年9月28日(設定日)~2024年5月31日、日次)



**REFINITIV LIPPER
FUND AWARDS**

2023 WINNER
JAPAN

『最優秀ファンド賞』受賞
投資信託部門
株式型 日本 中小型株
評価期間：3年

※ 基準価額(1万口当たり)は、運用管理費用(信託報酬)控除後のものです。上記はあくまで過去の実績であり、将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。

※ 受賞の詳細については、最終ページをご参照ください。

組入銘柄のご紹介 ①

<円谷フィールズホールディングス>

(期間:2018年9月28日~2024年5月31日、日次)



<I-ne>

(期間:2020年9月24日(上場)~2024年5月31日、日次)



※ 上記イラストはイメージです。

出所:ブルームバーグのデータをもとにりそなアセットマネジメントが作成。

※ 上記は当ファンドの理解を深めていただくため、当資料作成時点の組入銘柄の一部を紹介したものです。したがって、個別銘柄の売買推奨を目的とするものではなく、将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。また、今後も上記銘柄の保有を継続するとは限りません。

組入銘柄のご紹介 ②

<QPS研究所>

(円) (期間:2023年12月6日(上場)~2024年5月31日、日次)



エンゲージメント
の様子

左:QPS研究所大西社長
右:井浦ファンドマネージャー

*コーナーストーン投資

上場プロセスの早い段階(上場承認時)に、一定額(多くは相当額)の株式取得を約束する投資のこと。

出所:ブルームバーグのデータをもとにりそなアセットマネジメントが作成。

※ 上記は当ファンドの理解を深めていただくため、当資料作成時点の組入銘柄の一部を紹介したものです。したがって、個別銘柄の売買推奨を目的とするものではなく、将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。また、今後も上記銘柄の保有を継続するとは限りません。

小型株が割安な今、投資のタイミング??

<大型株と小型株のパフォーマンス優劣の推移>

(期間:2011年12月末~2024年5月末、月次)



日本の小型株は
約9年ぶりの
割安感

出所:ブルームバーグのデータをもとにりそなアセットマネジメントが作成。

※ 大型株と小型株のパフォーマンス優劣の推移は、TOPIX Small(配当込み)をTOPIX100(配当込み)で除した値です。

ファンドの目的・特色・仕組み・分配方針

ファンドの目的

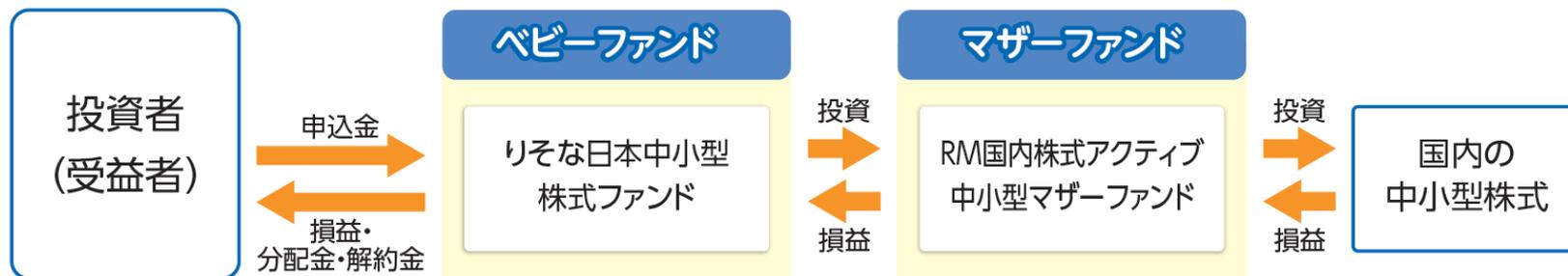
信託財産の積極的な成長を図ることを目指して運用を行います。

ファンドの特色

- ① RM国内株式アクティブ中小型マザーファンドを通じて、国内の金融商品取引所に上場されている*中小型株式への投資を行います。
* 上場予定を含みます。
- ② 社会の構造変化に伴い生じる「社会的な課題」の解決にビジネスの観点から取り組み、持続的かつ安定的に成長することが期待できる銘柄を厳選して投資を行います。
 - 当ファンドはSDGsを投資銘柄選定の主要な要素としています。SDGsを主要な要素として選定した投資銘柄の組入比率は合計100%とすることを目標としています。
 - SDGsを考慮して投資アイデアと投資銘柄を選定することで、SDGsの達成をはじめとした社会的な課題の解決に貢献する日本の中小型銘柄によってポートフォリオを構築します。

ファンドの仕組み

当ファンドはマザーファンドを通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。



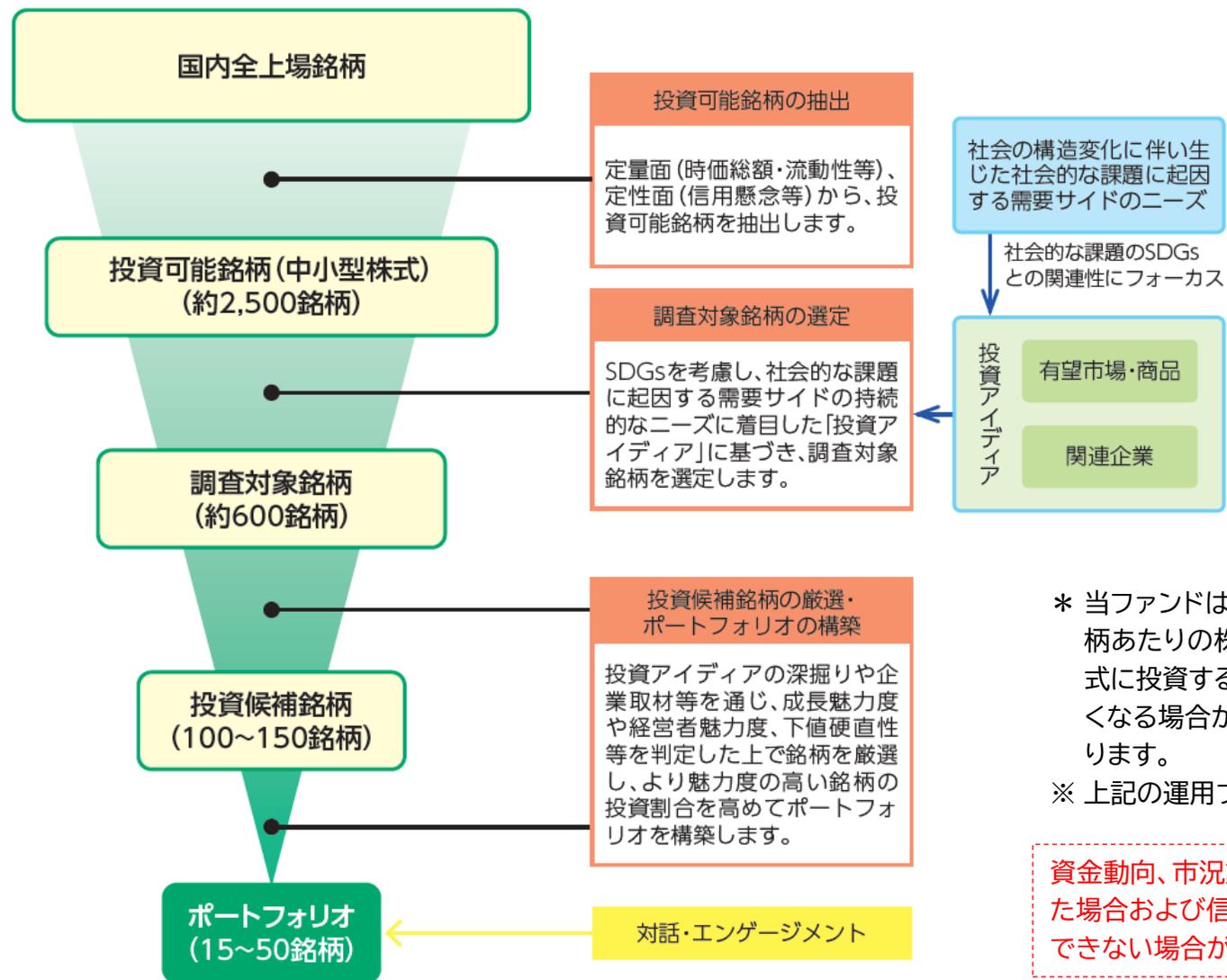
分配方針

原則、毎年6月25日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、以下の収益分配方針に基づいて分配を行います。

- ① 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。
- ② 原則として、基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
- ③ 留保益は、運用の基本方針に基づいて運用します。

※ 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

運用プロセスのイメージ



* 当ファンドは15～50銘柄程度でポートフォリオを構築することを想定しており、保有する1銘柄あたりの株価変動がファンドの基準価額に大きく影響する場合があります。また、中小型株式に投資する場合は大型株式に投資する場合と比較して流動性リスクおよび信用リスクが大きくなる場合があります。当ファンドの基準価額は株式市場全般の動きから大きく乖離することがあります。

※ 上記の運用プロセスおよびイメージ図は、今後変更になる場合があります。

資金動向、市況動向等に急激な変化が生じた場合、純資産総額が運用に支障をきたす水準となった場合および信託が終了する場合等のやむを得ない事情が発生したときは、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

当ファンドの基準価額は、実質的に組み入れている有価証券等の値動きにより影響を受けますが、運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

当ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。このため、お申込みの際は、当ファンドのリスクを認識・検討し、慎重にご判断くださいますようお願いいたします。

◆市場リスク(株価変動リスク)◆信用リスク◆流動性リスク

なお、当ファンドは15～50銘柄程度でポートフォリオを構築することを想定しており、保有する1銘柄あたりの株価変動がファンドの基準価額に大きく影響する場合があります。また、中小型株式に投資する場合は大型株式に投資する場合と比較して流動性リスクおよび信用リスクが大きくなる場合があります、当ファンドの基準価額は株式市場全般の動きから大きく乖離することがあります。

加えて、当ファンドはSDGsを考慮して投資アイデアと投資銘柄を選定するため、中小型株式に投資を行う一般的な株式ファンドと比較し、投資可能な銘柄群は少なくなる可能性があります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

<その他の留意点>

- 当ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、当ファンドと同じマザーファンドを投資対象とする他のベビーファンドの追加設定・解約により資金の流出入が生じた場合、その結果として、当該マザーファンドにおいても組入有価証券の売買等が生じ、当ファンドの基準価額に影響をおよぼすことがあります。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響をおよぼす可能性や、換金のお申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- 分配金はファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後は純資産が減少し、基準価額が下落する要因となります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額(1万口当たり)
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額(1万口当たり)
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として、購入・換金のお申込みについては、各営業日の午後3時までに受け付けた分(販売会社所定の事務手続きが完了したもの)を当日のお申込み分として取扱います。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金には制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消	金融商品取引所等における取引停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情が発生した場合には、購入・換金のお申込みの受け付けを中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みを取消することがあります。
信託期間	無期限(2018年9月28日設定)
繰上償還	次のいずれかの場合には、委託会社は事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意の上、繰上償還することができます。 <ul style="list-style-type: none">・ 信託財産の純資産総額が10億円を下回ることとなったとき。・ 繰上償還することが受益者のため有利であると認めるとき。・ やむを得ない事情が発生したとき。
決算日	年1回決算 6月25日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	原則として年1回の決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 ※ ファンドには、「一般コース」と「自動けいぞく投資コース」があります。販売会社によりどちらか一方のコースのみの取扱いの場合があるため、詳しくは販売会社にご確認ください。
信託金の限度額	500億円
課税関係	当ファンドは課税上、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度(NISA)の適用対象となります。 当ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。配当控除の適用があります。益金不算入の適用はありません。税法が改正された場合などには、変更となる場合があります。

ファンドの費用・委託会社、その他の関係法人

ファンドの費用

お客さまに直接的にご負担いただく費用

購入時手数料	購入価額に 2.2%(税抜2.0%) を上限として、販売会社がそれぞれ別に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にご確認ください。
信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に 0.3% を乗じて得た額を換金時にご負担いただきます。

お客さまに信託財産で間接的にご負担いただく費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に対して、 年率1.98%(税抜1.80%) を乗じて得た額とし、ファンドの計算期間を通じて毎日、費用として計上されます。			
	支払先	委託会社	販売会社	受託会社
	配分(税抜)	年率0.885%	年率0.885%	年率0.030%
その他の 費用・手数料	※ 運用管理費用の配分には、別途消費税相当額がかかります。 監査費用、有価証券等の売買にかかる売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、信託財産に関する租税および信託事務の処理に必要な費用等(これらの消費税等相当額を含みます。)は、その都度(監査費用は日々)ファンドが負担します。これらその他の費用・手数料は、信託財産の運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額またはその計算方法の概要等を記載することができません。			

※ 上記の手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

委託会社、その他の関係法人

委託会社	りそなアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2858号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 ファンドの運用の指図を行います。 お問い合わせ:0120-223351(営業日の午前9時~午後5時) ホームページ: https://www.resona-am.co.jp/
受託会社	株式会社SMBC信託銀行 ファンドの財産の保管および管理を行います。
販売会社	楽天証券株式会社 募集・販売の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)などの書面の交付、換金申込の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金・換金代金・償還金の支払いなどを行います。

投資信託のリスクと費用について

投資信託は、商品によりその投資対象や投資方針、申込手数料等の費用が異なり、多岐にわたりますので、当該商品の目論見書、契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解いただくよう、お願いいたします。

投資信託の取引にかかるリスク

- 主な投資対象が国内株式
組み入れた株式の値動きにより基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。
- 主な投資対象が円建て公社債
金利の変動等による組み入れ債券の値動きにより基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。
- 主な投資対象が株式・一般債にわたっており、かつ、円建て・外貨建ての両方にわたっているもの
組み入れた株式や債券の値動き、為替相場の変動等の影響により基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。

投資信託の取引にかかる費用

各商品は、銘柄ごとに設定された購入又は換金手数料（最大税込4.40%）および運営管理費用（信託報酬等）の諸経費をご負担いただく場合があります。また、一部の投資信託には、原則として換金できない期間（クローズド期間）が設けられている場合があります。

- お買付時にお客様に直接ご負担いただく主な費用
「買付手数料」：ファンドによって異なります。
- 保有期間中に間接的にご負担いただく主な費用
「ファンドの管理費用（含む信託報酬）」：ファンドによって異なります。
- ご換金時にお客様に直接ご負担いただく主な費用
「信託財産留保額」「換金手数料」：ファンドによって異なります。

買付・換金手数料、信託報酬、信託財産留保額以外にお客様にご負担いただく「その他の費用・手数料等」には、信託財産にかかる監査報酬、信託財産にかかる租税、信託事務の処理に関する諸費用、組入有価証券の売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息等がありますが、詳細につきましては「目論見書」で必ずご確認くださいませよう願いたします。

また、「その他の費用・手数料等」については、資産規模や運用状況によって変動したり、保有期間によって異なったりしますので、事前に料率や上限額を表示することはできません。

投資信託に関する情報提供について

- 楽天証券株式会社がウェブページ上で掲載している投資信託関連ページは、お取引の参考となる情報の提供を目的として作成したものであり、投資勧誘や特定銘柄への投資を推奨するものではありません。
- 各投資信託関連ページに掲載している投資信託は、お客様の投資目的、リスク許容度に必ずしも合致するものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- 各投資信託関連ページで提供している個別投資信託の運用実績その他の情報は、当該投資信託の今後の運用成果を予想または示唆するものではなく、また、将来の運用成果をお約束するものでもありません。

(楽天証券分類およびファンドスコアについて)

● 楽天証券ファンドスコアは、「運用実績」を一定の算出基準に基づき定量的に計算したもので今後の運用成果を予想または示唆するものではなく、将来の運用成果をお約束するものでもありません。最終的な投資判断は、運用コスト、残高の規模、資金流出入額、運用プロセス、運用体制等を考慮し、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。

● 情報提供：株式会社QUICK

各投資信託関連ページに掲載している情報（以下「本情報」という）に関する知的財産権は、楽天証券株式会社、株式会社QUICKまたは同社の情報提供元（以下三社を合わせて「情報提供元」という）に帰属します。本情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではなく、これらの情報によって生じた損害について、情報提供元は原因の如何を問わず一切の責任を負いません。本情報の内容については、蓄積・編集加工・二次加工を禁じます。また、予告なしに変更を行うことがあります。

免責事項

本資料は、将来の株価変動等を予測し保証するものではありません。また、有価証券の取引その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。記載された情報の正確性について万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何ら責任を負うものではありませんのでご了承ください。

資料に記載している価格、数値、金利等は、諸情勢により変化し実際とは異なる場合がございます。また、お取引を締結する際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承下さいませお願い申し上げます。

楽天証券の各取扱商品等に投資いただく際は、所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また各取扱商品等は、価格の変動等によって損失が生じるおそれがあります。投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ウェブサイトの「投資にかかる手数料等およびリスク」ページや「契約締結前交付書面」等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

投資信託は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります（ファンドごとのリスクは異なります。必ず、各ファンドの目論見書にてご確認ください）。投資信託をご購入の際は、あらかじめ最新の投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。なお、投資信託は預貯金とは異なります。ご購入時には各ファンドごとに設定された所定の手数料がかかります。

<所属金融商品取引業者の商号等>

商号等：楽天証券株式会社/金融商品取引業者関東財務局長（金商）第195号/商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料についての留意事項

当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が作成したセミナー資料です。お申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)および一体としてお渡す「目論見書補完書面」等を販売会社よりお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。
- 投資信託は預金や保険契約ではなく、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また証券会社以外でご購入された場合は、投資者保護基金の対象にはなりません。
- 投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 当資料は、当社が信頼できると判断した情報をもとに作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 運用実績および市場環境の分析等の記載内容は過去の実績および将来の予測であり、将来の運用成果および市場環境等を示唆・保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により、運用方針が変更される場合があります。
- 当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権、その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の記載内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

商号等: 楽天証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

ファンドの設定・運用は

商号等: りそなアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2858号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会